

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 25 日

評価対象事業		評価者	企画課長	安富 誠人
共生-03	東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	企画課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な実施に向けて、関係団体等と協力及び連携を行うとともに、市内全体の機運醸成を図るため。
効果	スポーツと平和、文化の祭典である東京2020オリンピック・パラリンピックという国際的行事を通じ、歴史的・文化的な魅力を発信するとともに、未来に残すレガシーを創出する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、市内を通過する予定であったオリンピック聖火リレー実施に向け、市内の交通規制等の周知を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本市のオリンピック聖火リレーは中止となった。 採火式を実施し、パラリンピック聖火フェスティバルに関連する事業を推進した。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、鎌倉の歴史的・文化的な魅力等を情報発信するとともに、スポーツ振興や国際交流等を推進した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	オリンピック聖火リレー	オリンピック聖火リレー関係委託料	—	— / —	176 / 1,630	—	—
02	パラリンピック聖火フェスティバル	パラリンピック聖火フェスティバル関係委託料	—	— / —	369 / 1,500	—	—
03	都市装飾	都市装飾関係委託料	—	— / —	0 / 600	—	—
04	その他事務等	機運醸成関係消耗品費等	—	— / —	252 / 416	—	—
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	0 / 0	0	0	
			地方債	0 / 0	0	0	
			その他特定財源	0 / 0	0	0	
			一般財源	797 / 4,146	4,146	0	
			事業費の合計(千円)	797 / 4,146	4,146	0	
		人件費(千円)		18,968	1,537		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.5	2.5	0.2			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	オリンピック聖火リレー	組織委員会や県と調整し、実施する一時的イベントであることから、指標の設定にはなじまない。	—	—
02	パラリンピック聖火フェスティバル	組織委員会や県と調整し、実施する一時的イベントであることから、指標の設定にはなじまない。	—	—
03	都市装飾	組織委員会や県と調整し、看板等を設置することを想定しているため、指標の設定にはなじまない。	—	—
04	その他事務等	事業実施に伴う翻訳等の経費のため、成果指標は設定しない。	事業の円滑な実施の実現のため必要な経費	—
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2 市民ニーズが減少している事業がある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 △-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー 庁外連絡会議(鎌倉市観光協会、商工会議所等)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止

コロナ禍の大会開催となったため、競技やイベントが無観客での開催になる等、様々な変更や制限があったが、その変更や制限を受け、対応しながら取組を実施した。

オリンピック聖火リレーは直前に中止となったが、パラリンピック聖火フェスティバルは他課と連携しながら、実施することができ、「鎌倉市の火」を生み出し、神奈川県を通して、東京2020パラリンピック聖火とすることができた。

機運醸成としては、SNS等を活用し、東京2020大会情報や、鎌倉市ゆかりの代表選手情報、フランスセーリングメダル情報など鎌倉やフランスについての魅力ある情報発信に努めた。

また、学務課と連携し、市立小・中学校にて本市の国際交流員が作成した動画を視聴しながら、フランス食を取り入れた給食を提供する等してフランス文化を学ぶ機会を作った。

令和3年9月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が閉会し、予定していた業務は終了した。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)								単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)								単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	当該事業は、オリンピック・パラリンピックという国際的なイベントの開催に係る事業であり、競技の開催の有無や競技内容などにより、他自治体との差異は多少はあるとは推測されるが、国、県及び市町村が一体となって取り組んだ事業であることから、他市比較に馴染まないと考え。また、対象イベントの特異性から、ベンチマークを設定し、経年の実績・効果を測定するべきものとも考えられない。
--------------------------	--